

労働者・国民犠牲の 行革・規制緩和 許すな！



郵政民営化で 郵便局つぶれる

郵産労愛知県協議会

橋本「行革」の目玉の一つ、郵政三事業は、九月三日の中間報告で、「簡保は民営化、郵貯は早期に民営化、郵便は国営化」とされました。その後、国民から民営化に対する強い反対意見、九割を越す地方議会の民営化反対の意見書採択や特定局長会の民営化反対決議などで、十一月の最終報告では、「郵政民営化」の見直しは必至の情勢となっています。

郵政三事業労働組合は、「郵政三事業の分離・分割・民営化に反対し、その撤回」を求めています。全国で運動を展開しています。

採算のとれない郵便局は廃局に

銀行業界は、「金融ビッグバン」で競争が激しくなり、安心できる国営の郵貯や簡保に資金が流れ込んでしまつたから、民営化して同じ条件で競争させる」と要求しています。

民営化されれば、いつでもどこでも、近くて、安心、手数料も安く、普段着で行ける郵便局はなくなつてしまいます。採算のとれない郵便局は廃局になりかねないからです。

全国で約二万四千局の内、単局ごとでみると一万八千局は赤字経営といわれています。地域の郵便局がなくなれば、国民生活に大きな影響を与えます。

また、利用アンケートなどで出された、金利の引き下げ、ポストの設置、年賀八ガキの減額等の要望も当局に要望しています。

私たちは、地域住民の方々の共同行動で、「郵政三事業民営化反対」の運動を大きく広げていきたいと思っています。

九月二十八日の「国民本位の郵政事業をめざすシンポジウム」でも、参加者からそういう意見が多数寄せられました。

郵産労が取り組んでいる民営化反対署名には、地域の公職者や利用者が積極的に応じてくれています。

また、利用アンケートなどで出された、金利の引き下げ、ポストの設置、年賀八ガキの減額等の要望も当局に要望しています。



名古屋市中区栄ターミナル前で11月2日(日)に宣伝行動
民営化賛否の市民投票では反対163、賛成6と市民は圧倒的に反対!!



労働法制の学習会には60
人が参加(十月十二日)

労働者の権利保障が危ない

全労働あいち支部

労働行政の「行革」「規制緩和」で労働者を守る法律も行政機関もなくなると大変な事態になります。

行政の機能の縮小や解体で、職業安定所や労働基準監督署、婦人少年室などの出先機関が外局化・独立行政法人化されると、本省との一体性を失って「分断」され、労働者の実態など、ますます行政に反映されなくなり、また、独立行政法人化で「効率性」のみ追求される

労働行政の「行革」「規制緩和」で労働者を守る法律も行政機関もなくなると大変な事態になります。

行政の機能の縮小や解体で、職業安定所や労働基準監督署、婦人少年室などの出先機関が外局化・独立行政法人化されると、本省との一体性を失って「分断」され、労働者の実態など、ますます行政に反映されなくなり、また、独立行政法人化で「効率性」のみ追求される



全動労争議団 支援と交流

北海道へ
激励ツアー

「国鉄闘争支援・全動労争議団家族との交流・激励ツアー」は、十月二日～五日の日程で北海道へ旅立ちました。熟年グループ二十一名と若者二人とともに、北の国、紅葉と味覚の北海道へ！

この旅のメインは、「JR北海道(札幌)前での要請行動と全動労争議団家族との激励・交流会」

「国鉄闘争支援・全動労争議団家族との交流・激励ツアー」は、十月二日～五日の日程で北海道へ旅立ちました。熟年グループ二十一名と若者二人とともに、北の国、紅葉と味覚の北海道へ！

この旅のメインは、「JR北海道(札幌)前での要請行動と全動労争議団家族との激励・交流会」



みがいた腕ひろう

第七回動くもの囲碁・将棋大会

「第七回動くもの囲碁・将棋大会」が、十月十九日(日)日本棋院中部総本部で開催されました。

今年は、様々な行事が重なり、参加者は例年より少なく五十一名、囲碁・将棋ともに初段以上のA級、一級以下のB級に分かれ、熱戦が繰り広げられました。表彰は次のとおりです。

【囲碁A級】
優勝 平野 央(名古屋労)
二位 丹羽哲夫(全港湾)
三位 山本裕康(全港湾)

【囲碁B級】
優勝 今井和美(全動労)
二位 岩田久夫(名古屋教)
三位 伴能雅俊(名古屋労)

【将棋A級】
優勝 福島隆夫(名水労)
二位 廣田英也(名古屋労)
三位 梅田勇二(全画)

【将棋B級】
優勝 佐口克彦(全建労)
二位 杉浦 厚(全画連)
三位 岩田和晃(全労働)



争議団と家族はみんなたくましい